

## ディスコグラフィー掲載

### ディスコグラフィー【2019No.134】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：ブルックナー他

曲名：交響曲第4番『ロマンティック』他

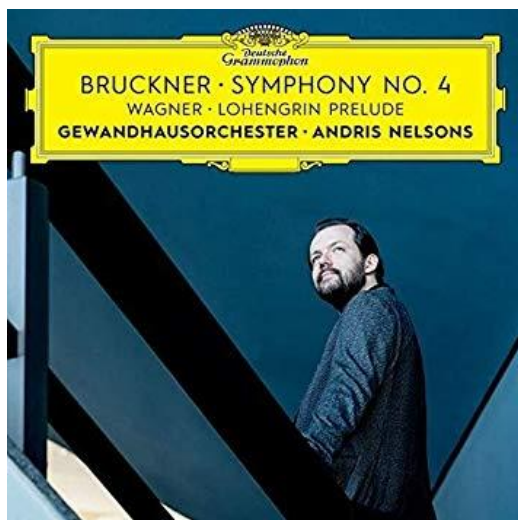
演奏：アンドリス・ネルソンス指揮ゲヴァントハウス管弦楽団

発売：ドイツグラモフォン

No. : UCCG-1789

概要：

[ネルソンス指揮ヴァントハウス管弦楽団のコンサート](#)に行き行って買い求めた CD です。



ブルックナーのロマンティックの他、ワーグナーのローエングリン第1幕への前哨曲が収録されており、ゲヴァントハウスの第21代カペルマイスターに就任したネルソンス指揮での録音です。

ブルックナー特有の複雑な構成における、流れるようなロマンティズムと厚みのある豪壮な響きが交差する曲ですが、演奏会のブラームスと同様、ネルソンスが丁寧に音を紡ぎながら、伝統あるゲヴァントハウスをリードしています。演奏会の迫力には及びませんが、このオーケストラの魅力を伝えてくれています。

ワーグナーの方も、流れるような美しい旋律です。

なお、ブルックナーの4番については、下記においても報告しています。

[ディスコグラフィーNo.72](#)

佐渡裕指揮トーンキュストラの CD

[ディスコグラフィーNo.95](#)

カールベーム指揮ウィーンフィルの MQA-CD

[My Sonic Stage 1030 の導入\(9\)](#)

ブロムシュテット指揮ゲヴァントハウスの CD

ハイティンク指揮アムステルダムコンセルとヘボウのアナログ盤

ブロムシュテット指揮のゲヴァントハウスの CD も聴き比べてみましたが、ネルソンの指揮の方が録音が新しいだけ、音が澄み切った印象です。

以上